

ボンボンのような花。切り花として大人気。

< 植物名 >

センニチコウ
ゴソフレナ

水やり

水やりは控えめにする。

置き場所

日なたと水はけのよい用土を好む。

用土肥料

有機質を多く与える。窒素肥料が多すぎると花つきが悪くなる。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

特記事項なし。

使い方 ドライフラワー 鉢植え 切り花

学名 Gomphrena

英名

属名 センニチコウ

科名 ヒユ

性状(分類) 一年草または多年草

原産地 熱帯アメリカ

花の色 赤、白、ピンク、黄橙

開花期 7～10月

購入時期

草丈 15～50cm

ID 967

季節 夏 秋

JFコード 14356



冬越しと置き場所

日なたと水はけのよい用土を好む。

その他の解説

有機質を多く与える。窒素肥料が多すぎると花つきが悪くなる。丈夫でよく育ち、花期も長い。

特徴1

熱帯アメリカ原産の一年草または多年草。日なたと水はけの良い用土を好む。丈夫でよく育ち、花期も長い。

特徴2

茎の先端につく花に見える部分は、苞の集合体でとてもカラフル。ボンボンのような丸い花序が愛らしく、切り花として人気がある。また、花は乾燥させても色が褪せないため、よくドライフラワーに利用される。仲間は熱帯各地に100種近く自生しているが、ガーデンプランツとして用いるのは、G・グロボーサとG・ハーゲアナが多い。高性品種は草丈60～70cm、矮性品種は約30cmほどになる。